

11月8日はいい歯の日です

あなたの歯と歯ぐきは大丈夫？ 毎年歯科健診を受けましょう



「忙しくて時間がない」「どこも痛くない」などの理由で、歯科健診を後回しにしているいませんか。自覚症状がなくても定期的に歯科健診を受けて、お口の状態を知っておきましょう。適切なケアをすることで、歯の寿命を延ばし、健康維持につながります。詳しくは健康づくり課 483-4646へ。

大人の歯の健康のために



40歳は歯ぐきの曲がり角です



歯を失う主な原因は、歯周病とむし歯です。歯を抜かなければならなくなる主な原因(図1)を年代別で見ると、30歳代までは「むし歯」が多く、40歳代以降では「歯周病」が多くなっています。

図1 (本) 抜歯の主原因別にみた抜歯数

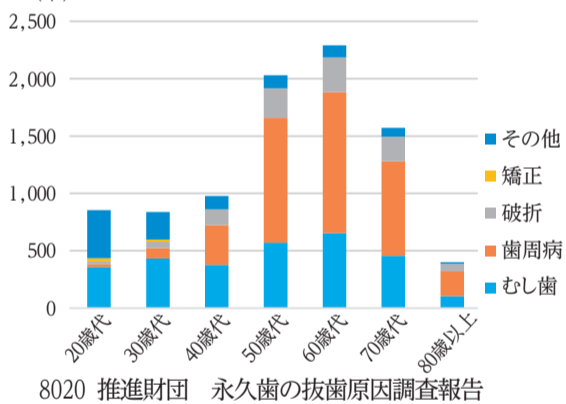
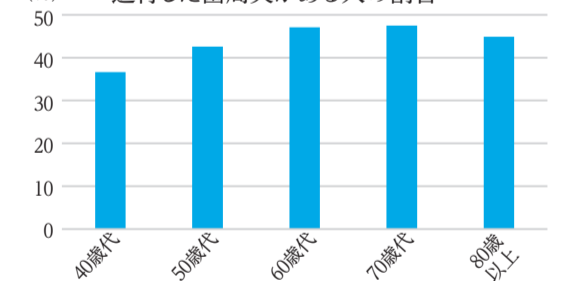


図2 (%) 進行した歯周炎がある人の割合



歯周病を予防しましょう



歯周病は、歯の周りの組織や骨に炎症が起こる病気で、むし歯に比べて痛みなどの自覚症状が出にくいのが特徴です。歯周病が重症化すると、歯を失ったり、歯の根元にむし歯ができやすくなったりします。また、近年、歯周病と糖尿病の関連性や誤えん性肺炎の原因となることがわかってきました。

26年度八千代市成人歯科健康診査で、進行した歯周炎のある人の割合(図2)は40歳代が36.6パーセント、50歳代が42.6パーセントと受診者の4割以上を占めます。進行した歯周病は、治療費や治療にかかる時間が増えます。

歯周病を予防するためには、若いころから歯みがきや食生活、生活習慣に注意することや定期的な歯科健診が大切です。



定期的に歯科健診を受けましょう

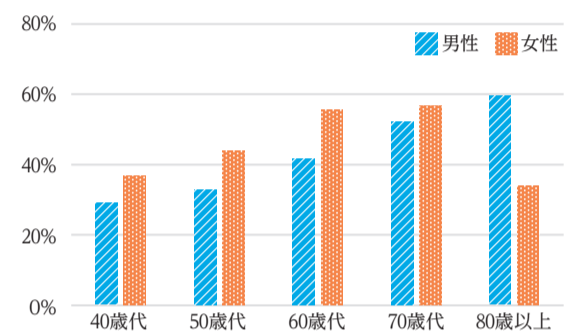


定期的(1年に1回以上)に歯科健診を受けている人の割合(図3)は、80歳以上を除いて各

年代で女性が多く、仕事などで忙しい男性の40歳・50歳代が低い状況です。40歳を過ぎたら、自覚症状がなくても一生付き合う歯と口の健康を保つために、歯科健診を受けましょう。

図3

定期的に歯科健診を受けている人の割合



市の成人歯科健康診査は、40歳以上の人を対象に、毎年受けられます。受診をきっかけに、かかりつけ歯科医を見つけ、生涯にわたって歯と口の健康を保っていきましょう。



健康な歯と歯ぐきを (80歳・女性)

成人歯科健康診査

(対象の人には、受診券を送付しています)

対象者：40歳以上の市民(歯科治療中の人は受けられません)

受診期間：12月末まで

健診内容：・むし歯の有無など歯の状態、歯の本数、歯ぐきの状態
・かみ合わせ、顎関節、粘膜、汚れ(歯垢・歯石)の状態

健診時間：15～20分

受診費用：800円(歯科健康診査に係る費用の2割相当の自己負担額で受診できます)
(70歳以上、前年度市民税非課税世帯に属する人、生活保護受給者等は無料)

実施場所：91か所の委託医療機関で受けられます

広告